

# いしのまき

No.  
84

## 市議会だより

令和7年2月20日発行

第4回定例会 .....	2
各常任委員会審査報告 .....	4
22人が一般質問で市政を問う .....	6
第3回臨時会 .....	15
行政視察レポート .....	17



## 第4回定例会

条例や補正予算など39件を可決

令和6年第4回定例会は、12月3日から18日までの16日間の日程で開催し、市長提出議案38件、委員会提出議案1件を審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。

### 第4回定例会に提出された議案と審議結果

#### 条例 (原案可決)

- 石巻市地域公共交通運賃協議会条例
- 令和元年台風第19号に伴う石巻市介護保険料の減免に関する条例を廃止する条例
- 信頼される市政のためのコンプライアンス条例
- 石巻市個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例等の一部を改正する条例
- 石巻市個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市保育所条例の一部を改正する条例
- 石巻市健康づくりパーク条例の一部を改正する条例
- 石巻市印鑑条例の一部を改正する条例
- 石巻市生活改善施設等設置に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

#### 予算 (原案可決)

- 令和6年度石巻市一般会計補正予算(第3号)
- 令和6年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 令和6年度石巻市下水道事業会計補正予算(第2号)
- 令和6年度石巻市一般会計補正予算(第4号)
- 令和6年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和6年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 令和6年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 令和6年度石巻市病院事業会計補正予算(第1号)
- 令和6年度石巻市下水道事業会計補正予算(第3号)

#### その他 (原案可決)

- 石巻市過疎地域持続的発展計画の変更について指定管理者の指定について
- (石巻市道の駅「上品の郷」)
- (石巻市総合運動公園)
- (石巻市かなんパークゴルフ場)
- (石巻市サン・ファン・パウティスタパーク)



▲遠藤宏昭 議長

#### 委員会提出議案 (原案可決)

- (石巻市営水押住宅等)
- (石巻市複合文化施設)
- (石巻市河北総合センター)
- (石巻市多目的ふれあい交流施設遊楽館)
- 石巻地区広域行政事務組合規約の変更について財産の無償譲渡について
- 財産の処分について
- 工事請負の契約締結について
- (東中瀬橋橋梁下部工新設(その3)工事)
- 工事請負契約の一部変更について
- (須江小学校屋内運動場・水泳プール改築工事)
- 公有水面埋立に関する意見について
- あらたに生じた土地の確認について
- 字の区域を変更することについて

- 第125号議案指定管理者の指定について(石巻市複合文化施設)、第126号議案指定管理者の指定について(石巻市河北総合センター)及び第127号議案指定管理者の指定について(石巻市多目的ふれあい交流施設遊楽館)に対する附帯決議



▲西條正昭 副議長

## 第4回定例会で可決した議案の中から主な内容を紹介します

### 可決した条例から

#### ◆石巻市地域公共交通運賃協議会条例

これまで道路運送法の規定により石巻市地域公共交通活性化協議会において協議を行っていた住民バス等の運賃および料金について、独占禁止法上のカルテルに当たるとの疑義が生じないようにする観点から、昨年10月に道路運送法が改正され、協議方法が見直されたことに伴い、運賃等の協議に特化した新たな協議会を設置するため、本条例を制定するもの。

#### ◆信頼される市政のためのコンプライアンス条例

本市の下水道工事に係る官製談合事件を受け、再発防止策の一つとして、公益通報制度の見直しおよび市政の信頼回復とコンプライアンス推進体制の再構築を図るため、現行条例の全部を改正するもの。

見直しの内容については、内部公益通報に係る通報者の範囲拡大、匿名通報の受付、外部受付窓口の設置のほか、外部の労働者等から通報を受け付ける外部公益通報窓口を設置し、併せて公正な職務の遂行を損なう特定要求行為に関する対応について新たに規定するもの。

#### ◆石巻市健康づくりパーク条例の一部を改正する条例

高齢者等の健康増進と地域コミュニティの醸成を図ることを目的として、石巻市立渡波中学校および石巻市立女子商業高等学校跡地に整備を進めてきた渡波地区健康づくりパークについて、土地の登記により当該用地に地番が付番されたことに伴い、位置の表示を改めるため、本条例の一部を改正するもの。

#### ◆石巻市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

大橋地区の市有地および県有地の土地利用計画の見直しにより、都市計画法に基づく大橋地区計画を変更したほか、蛇田西部地区における用途地域の一部変更により、同法に基づく蛇田西部地区計画を変更したことに伴い、それぞれの地区における建築物の制限を変更するため、本条例の一部を改正するもの。

### 可決した補正予算から

令和6年度一般会計補正予算（第3号）は、がんばる石巻応援寄付金の増加に伴い必要となる返礼品等の経費のほか、旧石巻ハリストス正教会教会堂の外構環境整備に要する経費等を措置したもの。

令和6年度一般会計補正予算（第4号）は、人事院勧告に基づく職員給与の改定および職員の異動等に伴う人件費などの整理に要する所要額を措置したもの。

#### ◆総務費では

- ・防災集団移転団地等の一般分譲および貸付に伴う国庫返還金 2,928万円
- ・がんばる石巻応援寄付金の増加に伴う返礼品等関係経費の増額 1億9,160万円
- ・電気通信事業者の電柱移設等に伴う光ファイバーケーブルの移設修繕経費の増額 800万円
- ・がんばる石巻応援基金費積立金 3億8,327万円

#### ◆民生費では

- ・国が定める公定価格の増額改定等に伴う私立認可保育所等運営費の増額 9,000万円
- ・児童手当制度改正に伴う児童手当費の増額 5,040万円
- ・私立認可保育施設に対する国の給付制度の改正に伴うシステム改修経費および公定価格の増額改定等に伴う指定管理料の増額 709万円

- ・障害児通所給付サービスの利用件数増加に伴う障害児通所給付費の増額 1億2,951万円

#### ◆衛生費では

- ・石巻広域クリーンセンターの光熱水費の増加のほか、事業費の整理に伴う石巻地区広域行政事務組合負担金の増額 9,581万円

#### ◆土木費では

- ・尾の崎海岸線の改良に要する経費 5,000万円

#### ◆消防費では

- ・消火栓設置に係る石巻地方広域水道企業団への工事負担金の増額 676万円

#### ◆教育費では

- ・旧石巻ハリストス正教会教会堂の外構環境整備に要する経費 2,220万円

## 各常任委員会審査報告

12月4日の本会議で、条例や補正予算などの議案が審議され、各常任委員会に付託されました。審査されたことの中からいくつかの質疑と答弁の要旨を紹介いたします。

## 条例・補正予算等審査

### 総務企画委員会



山口 荘一郎 委員長

信頼される市政のためのコンプライアンス条例

**Q** 外部公益通報の取り扱いについて伺う。

**A** 匿名の外部公益通報については、真実性が客観的に証明できる場合に限って取り扱うこととし、審査を進めていきたい。

**Q** 匿名の外部公益通報を不受理とした場合における受理した通報との公平性確保について伺う。

**A** 事務局で受理した通報は、市が権限を有する処分、勧告等を担当する所管課において受理または不受理を決定するため、通報様式を定め周知するなど通報者に丁寧な説明をする。

**Q** 特定要求行為の具体的な内容について伺う。

**A** 守秘義務に該当する情報のため開示できないことを説明しているにもかかわらず、特別に情報提供を求めるとや、特定の職員の人事に関する要求など、公正な職務の遂行を損なうおそれのある行為である。

令和6年度石巻市一般会計補正予算(第3号)

**Q** 地域情報化推進関係費の内容及び市内全体のファイバーケーブル網について伺う。

**A** 市内全体の光ファイバーケーブル網については、特別に情報提供を求めるとや、特定の職員の人事に関する要求など、公正な職務の遂行を損なうおそれのある行為である。

**Q** プルおよび電柱の移設を行うものであり、実施規模の大きい主な地区は、小積浜地区、横川地区である。また、通信網は行政用通信網と地域情報通信網の2つがあり、行政用通信網については、本庁、総合支所、公民館、学校等の公共施設を結ぶもので、地域情報通信網については、採算性の問題から民間事業者の参入が困難な地域に光ファイバーを整備し、NTTに貸与しているものである。

**Q** ふるさと納税に参加する企業の割合および参加事業者を増やすための手法について伺う。

**A** 市内の事業者約6千社のうち、参加可能な事業者は約3200社あり、その5%ほどの178社が現在参加している。

**Q** また、積極的に個別訪問を実施しメリット等を分かりやすく説明するなど、参加事業者を増やしたい。

## 環境教育委員会



千葉 正幸 委員長

石巻市印鑑条例の一部を改正する条例

**Q** LINE公式アカウントによる証明書の申請件数について伺う。

**A** 昨年11月に開始した、LINE E公式アカウントからの住民票の写しの申請実績は9件であり、まだ市民の認知度が低いため、利用拡大に向けて周知を徹底する。

**Q** 印鑑登録証明書のオンライン申請による取り扱いは、他自治体と比較して先駆けの取り組みなのか伺う。

**A** 県内では4番目の取り組みである。

令和6年度石巻市一般会計補正予算(第3号)

**Q** 旧ハリストス正教会修復工事の内容について伺う。

**A** 石ノ森萬画館側の歩道から旧ハリストス正教会教会堂に入るよう、エントランスやインターロッキングを整備し、周辺についても芝生や低木を植え、中瀬地区の景観と一体化させる。

**Q** 指定管理者の指定について(石巻市複合文化施設、石巻市河北総合センター、石巻市多目的ふれあい交流施設遊楽館)

**A** 指定管理者を公募にしたプロセスについて伺う。

**Q** 県内に石巻市複合文化施設と同規模の施設で指定管理の公募を行っている事例があり、教育委員会内部で協議した結果、公募に至った。募集要項の中で、応募団体を「宮城県に主たる事務所(法人では本社機能)を有する団体」とした理由について伺う。

**A** 本市のみにした場合、応募する事業者が限られ、県内の事業者とすることで、実際に他の指定管理を行っている事業者の知見が期待できるためである。

**Q** 新しい指定管理者に対する本市のチェック体制について伺う。

**A** 指定管理者との基本協定の中に、市民サービスの提供に支

障がある場合の市の対応規定を設けることや、現在本市で進めている指定管理者モニタリングによって、施設利用者の意見を聞きながら対応していくことを予定している。

**Q** 指定管理者の募集要項に、入札参加資格登録の要件を記載しなかった理由について伺う。

**A** 地方自治法第244条の2の規定により、指定管理者の指定は行政処分であり、入札とは異なるためである。

### 附帯決議案の提出

指定管理者の指定に当たり、3施設の今後の運営について、次の2点を申し添える。

1 石巻市は、今後滞りなく運営業務ができるよう、指定管理者との連携を密にし、職場環境の充実が図れるよう指導・助言を行うこと。

2 石巻市、指定管理者及び公益財団法人石巻市芸術文化振興財団は、財団職員の雇用について、可能な限り努力をすること。

### 反対討論（西條正昭委員）

市当局の答弁が真摯に行われ、全員賛成で可決されたことから、附帯決議案に反対する。

### 賛成討論（原田豊委員）

附帯決議は事業に対して要望や留意事項として付すことが可能であり、来年度から始まるモニタリング制度の正確性が分らないため、附帯決議案に賛成する。

### 反対討論（我妻久美子副委員長）

選定委員会委員がガバナンスをしつかりと審査している中で、1つの団体に対し、議会から職場環境の充実を促すことに疑問がある。また、指定管理者予定者より財団職員の継続雇用の提案があり、既に3者が努力しているため、附帯決議案に反対する。

**採決** 起立採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決した。

### 保健福祉委員会



鈴木良広 委員長

**Q** 令和元年度は540件で約800万円、令和2年度は580件で約840万円の減免額である。石巻市保育所条例の一部を改正する条例

**A** 減免した介護保険料について伺う。

**Q** 今後の民間保育所への移行について伺う。

**A** 人口の減少や一部地域では採算が取れないといった背景か

ら、今後は（仮称）大橋保育園の民間設置を最後に、民間保育所への移行は終了する。

**Q** 石巻市健康づくりパーク条例の一部を改正する条例

**A** 渡波地区健康づくりパークの利用状況について伺う。

**Q** 12月1日の供用開始から12月6日までに、約400人の利用があった。

**Q** 令和6年度石巻市一般会計補正予算（第3号）

**Q** ウクライナ避難民生活支援事業費において、現在の避難者数および当該避難者への支援状況について伺う。

**A** 令和4年度から現在まで、2世帯3名が避難している。

また、生活保護世帯の支援基準と照らし合わせながら、2世帯に生活費等を支援している。

### 産業建設委員会



星雅俊 委員長

**Q** 石巻市損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例の一部を改正する条例

**Q** 回収納付金を受け取る権利を放棄した実績について伺う。

**A** これまで条例に基づいて権利を放棄した事例はない。

**Q** 石巻市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

**Q** 大橋地区に関する改正内容について伺う。

**A** 大橋地区の市有地と県有地のうち、市有地は消防庁舎や今後整備予定の保育施設等で土地利用が決まっているが、県有地について、住宅の建築などを可能とする改正であり、その活用方法は県で検討される。

**Q** 指定管理者の指定について（石巻市営水押住宅等）

**Q** 住宅供給公社の職員数について伺う。

**A** 管轄となる東部支社の職員約40人のほか、本社で関わっている職員を合わせると、約60人である。

**Q** 住宅供給公社との連携および窓口対応について伺う。

**A** 公社とは疑義が生じた場合や、毎月の定例会議において、業務の実施状況や維持管理状況、懸案事項等について協議や情報共有を行っている。

また、窓口対応については、関係法令に基づき手続を行っているが、誤解が生じないよう丁寧に対応し、市と公社で回答の異なることがないよう、連携して業務に取り組んでいきたい。

# 一般質問

議員22人が登壇

## 市政を問う!

第4回定例会の一般質問は、22人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただし、政策提言を行いました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員自らが、市当局の答弁に基づき記事の編集を行っています。

議論の様子は、録画映像でもご覧になれます。

## 一般質問通告一覧(質問順)

<p>①阿部 浩章 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 これまでの市政運営と次期市長選挙について</li> <li>2 雄勝地区の諸課題について</li> <li>3 地域共生社会の現状と課題について</li> </ol>	<p>⑫渡辺 拓朗 (公明会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 こどもの「体験格差」について</li> <li>2 行財政改革について</li> </ol>
<p>②阿部 和芳 (日高見会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市長の政治姿勢について</li> </ol>	<p>⑬我妻 久美子 (石巻風の会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本市の教育環境について</li> </ol>
<p>③齋藤 澄子 (無会派)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子ども達へのインフルエンザ予防接種助成について</li> <li>2 不登校、引きこもり支援について</li> <li>3 女川原子力発電所2号機の再稼働について</li> </ol>	<p>⑭都甲 マリ子 (日高見会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 リニューアルオープンした慶長使節船ミュージアム「サン・ファン館」の本市における活用について</li> <li>2 安心な市民生活を維持するための施策について</li> </ol>
<p>④木村 美輝 (石巻あかつきの会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 石巻市の人口の推移について</li> <li>2 石巻市立病院の現状と課題について</li> <li>3 部活動の地域移行の現状と課題について</li> <li>4 女川原子力発電所の再稼働の安全対策とエネルギー対策について</li> </ol>	<p>⑮星 雅俊 (日高見会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 中心市街地のまちづくりについて</li> <li>2 市民が安全に暮らせるまちづくりについて</li> <li>3 行財政運営について</li> </ol>
<p>⑤櫻田 誠子 (公明会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 選挙投票について</li> <li>2 防災・避難について</li> <li>3 鹿又地区の未整備の水路について</li> <li>4 子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種の期間延長について</li> </ol>	<p>⑯宇都宮 弘和 (石巻風の会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 家畜伝染病に伴う行政の対応について</li> <li>2 住み続けたい街・街の幸福度について</li> </ol>
<p>⑥勝又 和宣 (石巻あかつきの会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 石巻駅前タクシープールの活用について</li> <li>2 公共施設維持管理について</li> <li>3 石巻市の地域活性化について</li> </ol>	<p>⑰阿部 正敏 (石巻風の会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 石巻市が進めようとしている災害時における避難行動について今後、地域住民とどのように理解を深めていくかについて</li> <li>2 石巻鮎川線における原発からの避難道整備について</li> </ol>
<p>⑦原田 豊 (石巻あかつきの会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ALPS処理水について</li> <li>2 中瀬公園整備事業について</li> <li>3 災害対応について</li> </ol>	<p>⑱楯石 光弘 (日高見会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 感染症時代の健幸づくりについて</li> <li>2 新たな、いしのまき復興マラソンについて</li> </ol>
<p>⑧早川 俊弘 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ごみ収集について</li> <li>2 学校施設の老朽化について</li> <li>3 地元企業への就職状況について</li> <li>4 地域交通の利便性向上について</li> </ol>	<p>⑲高橋 憲悦 (石巻市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 石巻の特性を活かした産業振興について</li> <li>2 市民の財産である職員の意識改革について</li> </ol>
<p>⑨鈴木 良広 (公明会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 東部地域の展望について</li> <li>2 避難所環境の課題について</li> </ol>	<p>⑳谷 祐輔 (石巻風の会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害がある方への就労支援の充実と拡充について</li> <li>2 若者の居場所支援の拡充について</li> <li>3 こどもの豊かな学びと教育環境について</li> </ol>
<p>⑩丹野 清 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保健・福祉における課題について</li> <li>2 渡波地区の諸課題について</li> </ol>	<p>㉑後藤 兼位 (石巻風の会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 行財政運営について</li> </ol>
<p>⑪大森 秀一 (石巻市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 小・中学校統合計画について</li> <li>2 齋藤市政(1期目)の総括について</li> <li>3 観光大使について</li> </ol>	<p>㉒阿部 久一 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 空き家と福祉に対応するまちづくりについて</li> <li>2 集落支援員制度の導入について</li> </ol>



阿部 浩章  
議員

ニュー石巻



**問** 令和7年春の市長選挙への出馬の考え方を伺う。

**答** 「全ての市民が住むことに誇りを持てるまちづくり」をオール市民で実現するため、出馬を表明する。

**問** 雄勝地区内漁港の照明は、不具合も生じており、転落事故や盗難防止のため、今後、恒久的整備をどう考えるか。

**答** 恒久的整備方針を検討しており、臨港道路内は市で整備し、作業場等必要な照明は、どのようにすべきかを今後、漁協および漁業関係者と協議していきたい。

**問** 県道釜谷大須雄勝線の尾崎一名振間は、宮城県に何度も要望しているが、40年以上過ぎてても、未着手である。今般の原発再稼働に加え、緊急時の安全確保が懸念されるため、打開策として、例えば、「石巻市雄勝町国道県道整備促進期成同盟会」を中心として、宮城県、県議会・市議会議員および関係者を一同に介した「現地勉強会等」を開催し、課題認識を深める必要はないか。

**答** 議員ご指摘のとおり、認識共有が大変重要と考える。要望に加え、新たに一同に介した現場見学等を継続するよう、当該同盟会を中心に連携して努めていきたい。

**問** 地域福祉コーディネーター(CSC)の社会福祉協議会の中での位置付け、役割および処遇はどうか。

**答** CSCは、地域の方々と直接関わるなど、行政では行き届かない部分を担っている。このため、現在CSCで活用する国の交付金は、来年度交付終了となるが、引き続き事業費確保に努めていきたい。



阿部 和芳  
議員

日高見会



**問** 行政視察で能登町へ行く途中の道路は未だ整備が遅れがちだったが、似た地形の牡鹿半島道路について市長の所見を伺う。

**答** 改めて命を守るライフラインである道路整備の重要性を痛感した。

**問** 風越道路桃浦3期工区の桃浦地区沿岸部を高盛り土で実施してほしいと要望し検討を願ひ、従来よりもレバアツプするか伺う。

**答** 沿道の土地利用や接続する市道とアクセス性など総合的に判断し決定する。

**問** 桃浦までの第2トンネルに続き、狹浜・小積浜への第3トンネルの次期計画要望が想定外にならないようにすべきだが伺う。

**答** 地域の皆様と一体となり、今後も強く要望する。

**問** 「渡波地区新たな津波避難対策検討協議会」のアンケート結果で車避難が半数以上を占めたが、理想だけではなく現実問題として、車避難の在り方や避難道整備を抜本的に見直す必要があるのではないか。併せて避難所も。

**答** 道路整備には限界がある。地域の住民と一緒に防災計画の作成に取り組む。避難所も同様。

**問** 命を守る道は重要で生活・経済も大きく変える。不動町や湊地区の買い物難民解消へよりよい対応を願う。また、震災遺構大川小学校の柱が壊れており、早急に対応すべきでは。

**答** 存置保存で良い方法を検討している。

**問** 復興住宅のペットの事例、情報を提出し互助会に入ることを入居条件としては。民間であるNPO法人アニマルクラブ石巻だけに頼るのではなく、行政としてしっかりとリードし、命を守る必要がある。



齋藤 澄子  
議員

無会派



**子どもへのインフルエンザ予防接種助成について**

**問** 65歳以上の高齢者と同じように、子どもたちも1500円で接種できないか。

**答** 相当の財政負担を伴うので難しい。

**問** まずは受験生、中学3年生を対象にできないか。子育てしやすい環境づくりや子どもたちの将来に対する有用な取り組みについて検討していく。

**学校へと出向くことができない児童生徒、引きこもり支援について**

**問** 支援について伺う。

**答** ほとんどの生徒がサポートセンターやフリースクール等で支援を受けているほか、教員やスクールソーシャルワーカー等が家庭訪問を実施。引きこもり相談として県が専門相談窓口を設置している。市民の方が相談できる体制を県、関係機関と連携し支援が行き届くよう取り組んでいく。

**女川原発2号機の再稼働について**

**問** 度重なる不祥事、市はどのように考えているのか。

**答** 基本的な作業がしっかりされていなかったことは市民に不信感を与えることとなり大変遺憾だ。東北電力に再発防止の徹底を求めるとともに地域住民に対し丁寧な説明や情報発信を果たしていくよう強く求めている。

**問** 住民合意を図らない限り乾式貯蔵施設建設に合意すべきではない。

**答** 原子力規制委員会で安全性等を含めた適合性審査が行われている状況。その結果を踏まえ判断する。



木村 美輝 議員

石巻あかつきの会



人口の推移について

石巻市の人口の推移と出生数について伺う。

答 人口は合併当初より3万77771人減少、出生数は合併当初の約半分の601人。

問 人口減少対策は急務と考えるが見解を伺う。

答 本市の最重要課題である。出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまでの切れ目のない支援などさまざまな対策を講じてきた。若者との意見交換等に参加し、ご意見等を参考としながら、より効果的な施策展開につなげていけるよう取り組んでいく。

問 出合いの場にも力を入れてほしい。

石巻市立病院の現状と課題について

現状と課題について伺う。

答 患者数は徐々に増加し、医療収支も改善してきている。物価高騰により経費の縮減・抑制に取り組む必要がある。

問 紹介状がなくても市立病院での診療が可能か伺う。

答 内科、外科、耳鼻咽喉科および眼科においては、紹介状なしで診療が可能。整形外科は医師数の関係もあり手術が中心となるため、紹介状の持参が必要。皮膚科は、予約制となっているほか、他医療機関で治療中の場合は、治療計画に役立てるため、紹介状の持参をお願いする。

部活動の地域移行の現状と課題について

問 地域の広さや指導者確保、送迎や会費などさまざまな課題があるが、教育長としての見解を伺う。

答 多くの課題があるが、子どもたちが混乱しないよう、平日の部活動は当面の間は実施する。さらに、地域性を考慮し議論する。

問 石巻市としての課題を国や県に伝えてほしい。



櫻田 誠子 議員

公明会



選挙投票について

問 入場券の6人つづりを見直し期日前投票宣誓書欄を設けるべき。

答 入場券への宣誓書の対応は、受付時間短縮や事務簡素化にもつながることから前倒しの方向で進めたい。

問 投票用紙の訂正やメモを持参し投票できること等分らない人も多い。分かりやすく周知すべき。

答 積極的な周知広報と、きめ細やかな支援に努める。

問 投票所に行けない高齢者等が増え、対応すべき。

答 一部地域の移動式期日前投票バスや当日投票所への移動支援のほか、全市的な支援制度として検討する。

防災・避難について

問 防災訓練のペット同行避難での課題について伺う。

答 日頃からのしつけ。ペットの非常用持ち出し品の確認。同行避難に関するチラシを作成し周知する。

問 鹿妻地区住民から避難の際高台が遠く、鹿妻市営住宅を避難場所にと要望がある。

答 地域における避難ルールを含め活用を検討する。

問 視覚障がい者向けの、耳で聴くハザードマップの導入を推進すべき。

答 視覚障がい者の安全安心のため、宮城県での導入実現に向け関係部署に積極的に働きかける。

鹿又地区の未整備水路について

問 未整備水路について伺う。

答 地域住民の安心・安全確保のため、継続して早期に解消されるよう努めていく。

子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種の期間延長について

問 期間延長について伺う。

答 今年度中に1回接種済みが対象。周知のため個別通知と、SNS等で周知啓発に努める。



勝又 和宣 議員

石巻あかつきの会



石巻駅前タクシープールの活用について

問 一般車両の混雑状況に対して、宮城県タクシー協会石巻支部とタクシープールの効率的な運用に向け、歩み寄った協議をしていくことについて所見を伺う。

答 混雑は認識しており、先日石巻駅前交番に市役所立体駐車場への誘導をお願いした。宮城県タクシー協会石巻支部にも周知等の協力を得ながら、混雑解消に向けて取り組んでいく。

公共施設維持管理について

問 行政庁舎、消防団詰所・ポンプ場置場等、災害時に必要な施設、耐震診断義務付け以外の公共施設に対する耐震診断も必要だと思いが見解を伺う。

答 過去に耐震診断の実施調査を限定して行っているが、特に災害発生時に重要な役割を果たす施設において、市民の生命、財産を守る上でも不可欠であるので、耐震診断の実施状況を含め、現状把握が必要と考えている。

問 避難路沿道にある民間施設等の建築物耐震診断の情報収集はどのように行っているのか伺う。

答 石巻市耐震改修促進計画の改定があるため、その際に調査および情報収集していく。調査結果を計画に盛り込んで所有者に耐震改修の必要性を通知していく。

石巻市の地域活性化について

問 今後、多文化共生の担い手の育成支援が必要と考えるが、見解を伺う。

答 多文化共生の取り組みを次の世代へ継承し、普及できるようサポートしていく。



豊 原田 議員

石巻あかつきの会



ALPS処理水について

**問** ALPS処理水の放出から1年4カ月が経過したが、東京電力が行う風評被害に対する賠償状況を伺う。

**答** 東京電力に確認したところ、11月27日時点で全国からの請求数は約730件、そのうち支払い件数は約370件、賠償金額は約460億円。本市に設置された相談窓口における相談件数は11月末時点で41件であり、主に水産加工業者からの問い合わせである。

**問** 申請したが音沙汰がない、賠償されるケースが少ない、企業努力で国内流通させ売り上げが昨年と同等となったため、賠償を受けることができなかったなど東京電力は要件を拡大解釈し、出し渋りしている気がする。行政や漁協に相談は来ているか伺う。

**答** 水産課はじめ各総合支所へ相談は来っていない。宮城県漁協への相談については、石巻地区支所や表浜支所に話を伺うと、海外輸出の取引減少や単価の下落等についての相談はあった。

**問** 状況は深刻だ！我々議会も市長も職員も終わったことではなく、現在進行形で寄り添い続けていかなければならない。市長の考えを伺う。

**答** 国と東京電力に対して処理水の安全性を明確に示し、国民に周知徹底を図りながら、なりわいとしての水産業を継続していけるように支援を求めていく。



俊弘 早川 議員

ニュー石巻



石巻市ごみ集積ボックス等設置事業費補助金交付要綱について

**問** 高騰しているごみ集積所設置費用に対する補助額の見解を伺う。

**答** 市民が使いやすい補助内容への見直しを検討する。

学校施設の老朽化について

**問** 市内の小中学校施設の老朽化対策における現状と課題を伺う。

**答** 石巻市学校施設整備保全計画に基づいて優先度の高い学校から進めていく。集中的な整備推進への対応が難しい状況である。

**問** 住吉小学校、中里小学校、開北小学校の3校統廃合進捗状況を伺う。

**答** 保護者や地域住民の方々などへ基礎的情報を含め学校の在り方について、意見交換の機会を設ける。

地元企業への就職状況について

**問** 地元企業が石巻専修大学の学生を積極的に採用する方策と、その現状について伺う。

**答** 石巻地域へ就職した学生の割合は3年間の平均で1割程度である。「みやぎものづくりカレッジ」において、企業による講演会や企業説明会、さらに、企業見学会やインターンシップが進められる。本市に定住し、地元企業に就職した学生を対象に奨学金返済を支援する制度を設けていることを周知する。

地域交通の利便性向上について

**問** 渡波・鹿妻地区の方々が、ミヤコーバスの渡波稲井線トンネルを通行し、石巻赤十字病院に向かうバス路線を週1回または月1回増便できないか伺う。

**答** 採算性を含め運行が可能か運行事業者と相談する。



良広 鈴木 議員

公明会



東部地域の展望について

地域のにぎわい創出について

**問** 石巻魚市場では、いしのまき大漁まつり開催時にはぎわうが、それ以外は静かである。ギネス登録もされているのに「水産都市石巻」としては寂しい。恒常的なにぎわいの場として民間事業者と協力し、活気ある場所にしたと考えるが所見を伺う。

**答** 市場の観光地化については、経営的な視点だけでなく、施設整備や集客など課題と効果を検証する必要がある。今後、民間事業者の機運が高まれば、市としても協力し、水産振興に結び付く施設の在り方を考えたい。

地域の利便性向上策について

**問** 通院の負担軽減には、オンライン診療にメリットがあると考える。市立病院でもオンライン診療を行っているようだが、患者数の推移と課題について伺う。

**答** 11月までのオンライン診療実績は9件。課題としては、患者側で通信機器やインターネット環境を整える必要があることや、操作に不安がある患者の場合、家族の同席が必要な場合などがある。

渡波支所・公民館の移転計画について

**問** 庁舎建設には多額の費用がかかるが、財源についてはどのように考えているのか伺う。

**答** 現時点で想定される財源は合併特例債の活用だが、他の事業との兼ね合いもあることから、庁舎建設に活用できる補助金などを検討し、財源確保に努め、総合計画への位置付け等を含め検討したい。



丹野 清 議員

ニュー石巻



**問** 本市における夜間および日曜・休日における医療体制の課題について伺う。

**答** 救急ではなく、日曜日ということで気軽に受診する「コンビニ受診」ケースがあり、当番医を担う医療機関にとって負担となっている。

**問** 「重層的支援体制」の在り方について伺う。

**答** 地域に根付いて活動を行う団体の協力をいただきながら、複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築してまいりたい。

**問** 定員に満たない民間保育所もある中で民間誘致や公立保育所定員の設定について伺う。

**答** 民間保育施設の存続は必要不可欠であり、安定した保育事業が継続できるよう、公立保育施設利用定員の見直しを適宜行っていく。

**問** 津波避難タワーの設置について伺う。

**答** 既存の公共施設を最大限活用していくとともに、民間施設の活用や津波避難タワーを含めた津波避難場所の必要性について検討していく。

**問** 渡波地区健康づくりパークの管理体制、今後の見通しについて伺う。

**答** 現在は市において管理を行っているが、今後は地域の方々による管理に向けて協議を重ねていきたい。

**問** サン・ファントネル内の照明等について伺う。

**答** 国の補助金を活用して今年度から着手し、3カ年で改修する予定としており、早期に完了できるよう、鋭意進めていく。



大森 秀一 議員

石巻市民クラブ



小・中学校統合計画について

**問** 桃生地区小・中学校統合の進捗状況について。

**答** 桃生地区3小学校統合準備委員会を中心に専門部会を随時開催しながら準備を進めている。3校統合後の校歌・校章・校旗については、当面桃生小学校のものを使用する。校歌や校章・校旗の作成は最終目的となる小中一貫校の開校時期に合わせ、子どもたちの意見なども取り入れて地域に長く愛されるものを検討したい。

**問** 中津山第二小学校の体育館を「はねこ踊り伝承館」にすることについて。

**答** 閉校となる学校施設については、教育の用に供する施設として利活用の有無を検討し、教室を含めてはねこ踊り保存会と協議の上、検討していく。

齋藤市政（1期目）の総括について

**問** 桃生地区への「桃生豊里インターチェンジ周辺企業誘致」について。

**答** 桃生地区への立地意向のある企業を発掘することを最優先として、デベロッパーや設備投資意向のある企業に対し、当該適地候補地等の情報提供やアプローチするなどの誘致活動を実施しているが、立地志向のある企業の発掘には至っていない。

**問** 桃生・豊里インターチェンジから登米インターチェンジ間の最速4車線化に対する市の取り組みについて。

**答** 指摘される三陸道路4車線化が実現した場合、当該区間の交通渋滞の緩和や物流の時間短縮コスト削減が可能となり、企業が立地を決定する上での大きな利点があると推察される。



渡辺 拓朗 議員

公明会



子どもの体験格差について

**問** 所得格差社会から多様な体験の機会が子どもたちから失われ体験格差が広がっている。認識と対応策を伺う。

**答** タブレット普及により仮想体験が広がり、実体験の場が少なくなりコミュニケーション能力の低下など非常に深刻に受け止めている。実体験の創出の場として放課後子ども教室を実施している。

**問** 放課後子ども教室は33校中4校にとどまっているが今後の方針は。

**答** 全ての学校で放課後子ども教室が実施できるように地域の力を借りながら体制づくりに努力する。

行財政改革について

**問** 経常収支は2年連続で100%超えであり、また人口構成から今後の社会は高負担の社会になる。特にこれから生きる若い世代が希望を失わないように、適時適宜の支援策を実行するための財源確保に向けて、歳出削減をもつと努力すべきであるが所見を伺う。

**答** 国は極端な赤字会計が続く中、地方は黒字となっている。国に求めるばかりでなく歳出削減に向けて行政委員改革も含めてあらゆる努力をする。

**問** 1市6町合併協定書にも、行政委員の職務格差、報酬の不公平は正が盛り込まれている。復興期間を除いても10年たつたがその後の進捗は。

**答** 格差是正に向けて業務内容や報酬などを精査している。今後は統一に向けてどのような方針で是正していくのがよいか、行政委員の意見を聞きながら見直しを図っていく。



我妻久美子  
議員

はやて  
石巻風の会



**問** 小中学生女子への内科検診で、下着を着けずに上半身をまくり上げ検診を行っている学校があるが、特に中学生へプライバシーを配慮した検診を行うことは可能か。

**答** 児童生徒等へのプライバシー保護や心情に配慮した健康診断の対応について、一定の基準を示していきたい。

**問** 不登校児童生徒への対応をしているコイルの利用人数が増加傾向にある。「学びの多様化学校」の設置を検討すべきではないか。

**答** 不登校児童生徒の多様なニーズへの対応を図るには場所と人員が必要であり、コイルが中心となりフリースクールとの連携を行っている。本市にとってどのような形がよいか先進事例を注視していく。

**問** タブレットに配備された電子図書や学校図書室にない「子どもたちが読みたい本」を届ける方法について。

**答** 子どもたちの興味関心、要望を踏まえ、子どもが主体となった図書館運営について指導したい。石巻市図書館と連携を図り、学校が市の図書館から子どもたちの読みたい本を借りるサービスも利用していく。

**問** 「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ進むために、空き教室等を利用した学校協働推進室の設置を各学校に求めることはできるか。

**答** 各学校の空き教室や空きスペース等の状況を確認した上でコーディネーターに通知したい。また必要な機材等の環境整備は可能なところから考えたい。



都甲マリ子  
議員

日高見会



**リニールオープンしたサン・ファン館の本市における活用について**

**問** サン・ファン館の開館に際し、サン・ファン号と同時期にガレオン船が建造された静岡県伊東市の小野市長から祝電が贈られたが、友好都市協定を結ぶ予定があるのか伺う。

**答** 伊東市は観光都市であり、交流を深めることにより本市にとって参考になることもある。交流を続けながら展開について検討していきたい。

**問** 2017年にスペインのコリア・デル・リオ市のモデスト市長が本市を訪れ、慶長遣欧使節に関する自治体連携の構想を提示したが、歴史的つながりのあるスペイン・イタリヤ各都市との交流を深めることで交流人口を創出し、インバウンドコンテンツの強化を行うべき。

**答** コロナ禍もあり連絡が途絶えていたが、このたびの令和遣欧使節団のご協力で親書を託すことができた。宮城県や関連自治体とも連携しながら進めていきたい。

**インターネット等を介した犯罪等から市民生活を守るための施策について**

**問** 「子どもが歩いて学校に通学できる」というのは治安のいい日本だからこそ成立しているが、海外から無防備な子どもたちが標的にされる事態がないとは限らない。犯罪抑止の観点からは集団登校や見守りの強化が必要と考えるが、いかがか。

**答** 今後も徒歩による通学を主として指導していくが、同時に安全性の向上について検討する。



星 雅俊  
議員

日高見会



**中心市街地のまち**

**問** 中心市街地活性化基本計画(案)では、石ノ森萬画館や元気いちばの2施設入場者数が平成29年比較、令和5年で約20万人増の157万6千人だが、歩行者数は、1万1007人と激減。街の魅力として「マンガ」を磨き上げる内容を伺う。マンガキャラクターグッズ商品取扱店の増や商店負担を下げる方法も検討すべき。

**答** 石ノ森キャラクターと一体のベンチ5基、萬画館のリニール等を実施する。グッズ活用も研究していく。

**市民安全のまち**

**問** 渡波地区の津波避難の住民の取り組みは大変評価するが、危惧もしている。指定避難先の収容人数が不足する原因は、他地区でも不足はあるのか。

**答** 避難所としてカウントする施設が市と渡波協議会では相違があるため。他地域での収容人数が不足した場合は地域の皆様と協議する。

**問** 昨年公表のハザードマップは、津波浸水高、避難所など掲載済み。他の地区防災計画で避難所の変更があれば、見直し発行すべき。

**答** 避難所等の施設変更があれば、見直しが必要と考える。

**問** 特定PFASとは。市内で今まで検出されたことがあるのか。また、今後の対応を伺う。

**答** 国際条約で製造・使用禁止の人体に悪影響を及ぼす有機フッ素化合物。検出は、国基準値50ナノグラム毎リットルに対し、石巻地方広域水道企業団で令和3年度から令和5年度で3〜5ナノグラム毎リットルが検出。今後、国が検査方針を検討中だが、地下水、簡易水道等が必要に応じて検査、検討する。



宇都宮弘和 議員

はやて 石巻颯の会



家畜伝染病に伴う行政の対応について

問 家畜伝染病が発生した場合の課題は。

答 埋却場所を確保できない農場での公有地の確保。

問 埋却ではなく焼却を実施している自治体がある。移動式焼却施設等について県や国に要請すべき。

答 強く要望するよう積極的に働きかける。

問 被害（風評被害含む）が出た場合の対応は。

答 被害の未然防止と発生した場合には、速やかに県と協議して必要な措置を講じる。

問 埋却については、家畜伝染病のみならず、鹿の埋却・埋設について課題がある。今後の対策について伺う。

答 地域の皆様に理解が得られるような適切な処分方法を進めていきたい。

住み続けたい街・街の幸福度について

問 大東建託（株）の調査での石巻市の順位について。

答 住み続けたい街では東北で76位、県内で15位。街の幸福度では東北で90位、県内で22位。

問 幸福度を測定し、政策に生かしては。

答 数値目標に市民満足度を設定しており、幸福度向上へつなげている。

問 指定管理者も研修の機会を設けてはどうか。

答 指定管理者と連携を深めながら取り組んでいく。

問 企業訪問を実施して政策に反映させてはどうか。

答 年間100件程度企業訪問し、業界の要望や課題などの把握に努めている。

問 石巻市の幸福度向上に向けて、ウエルビーイングを推進してはどうか。

答 ウエルビーイングにつながる知見の醸成や蓄積にも意を用いていく。



阿部 正敏 議員

はやて 石巻颯の会



石巻市が進めようとしている災害時における避難行動について、今後地域住民とどのように理解を深めていくかについて

問 L2津波から守れない地域が石巻地域には多く存在する。一方、防災集団移転が行われた半島沿岸部はL2から守れる地域もある。地域によって大きく変わる避難行動について、どんな災害に関心があるのかアンケートを取ってはどうか。

答 今般提供を開始した宮城県自然災害避難支援アプリのアンケート機能等を活用して調査をする。

問 田辺市ではドローン等を活用した画像分析により現実世界の物理的環境を仮想空間で再現し、災害時、被害状況の迅速な把握ができるよう訓練や被害想定の見える化に役立っている。先進的な取り組みを取り入れてはどうか。

答 他自治体の先進事例を参考に研究していく。

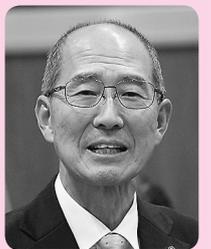
石巻鮎川線における原発からの避難道整備について

問 風越Ⅲ期桃浦トンネルを抜けた県道整備について、あえて海側に近く、しかも防潮堤よりも低い道路を整備しようとしているのか。

答 本道路の計画に当たっては沿道の土地利用や接続する市道とのアクセス性を考えた。

問 風越Ⅲ期桃浦トンネル工事のルートを検討する際、地域住民や県議会議員、市議会議員に相談したのか。

答 山側ルートを含む複数のルートを比較検討した上で沿道の土地利用や接続する市道のアクセス性、冠水実績、経済性等を総合的に勘案し決定した。



栢石 光弘 議員

日高見会



感染症時代の健幸づくりについて

問 新型コロナウイルスが5類移行後、全国で年間3万2千人以上亡くなり、インフルエンザの約30倍、後遺症もあることから今後も注意が必要。本市の健康状況と対策について伺う。

答 健康寿命は、男性が79・22歳、女性が83・63歳でいずれも県平均以下。メタボ該当者についても男性が52・3%、女性は18・1%で特に男性がトップクラス。食育フェスティバルでは、健康寿命の目安である血管年齢などを測り、健康意識を高めている。

問 本市の慢性腎臓病の現状と重症化予防対策について伺う。

答 国民健康保険での推計で患者2400名、医療費約7億4300万円、人工透析者178名、一人当たりの医療費は500万円から600万円。対策として、医師による保健指導や、専門医の紹介。

新たな、いしのまき復興マラソンについて

問 これまでの大会の何を变えようとしているのか伺う。

答 復興支援の感謝を全国に発信することに加え、全国の被災地の応援を経験した本市だからこそ発信できる「スポーツの力」「人の輪の力」を結集した復興の次の未来に向かう大会へコンセプトを変更。ランナーの声を反映し、コースおよび競技種目を変更した。

問 マラソンや百歳体操などで楽しく汗を流すことは免疫力・筋力の向上・健康寿命の延伸につながる。元気で長生きは立派な社会貢献。長期的健幸づくり「生きがいを持ち健やかで幸せ」への切り替えを、オール石巻で盛り上げることを切望する。



高橋 憲悦  
議員

石巻市民クラブ



石巻の特性を活かした産業振興について

問 高齢化と担い手不足に直面している農漁業への取り組みについて。

答 農業部門は、就農相談会や現場体験会を開催。水産部門は、担い手育成事業など漁協と連携して研修を実施している。生産者の働きがいに着目した産業振興が重要と考える。

問 基幹産業である水産業、特に漁船誘致および魚市場の活性化について。

答 入港実績のある漁船へのさらなる水揚げの奨励、新規の漁船誘致活動を行う。魚市場は事業体制、流通体制の充実とブランド化を強化する。

問 観光振興の取り組みについて。

答 多様な観光資源、魅力を発信し、観光誘客により交流人口を拡大することで通過型の観光を打開する。

市民の財産である職員の意識改革について

問 総合支所を含む出先機関と本庁の連携について。

答 総合支所連絡調整会議を定期的開催し、地域課題解決に向けてさらなる連携強化に取り組む。

問 職員の適正配置とコストを含めた意識改革は。

答 人事ヒアリングを踏まえ、コスト意識や政策形成能力の向上のための研修等を実施する。

問 馬つこ山・千本桜植樹祭での市職員の対応に感謝しつつ、「オール市役所」の浸透について。

答 行政課題に柔軟、力強く対応し、活力を満ちるよう職員とコミュニケーションを積極的に図る。



谷 祐輔  
議員

はやて  
石巻颯の会



石巻市における障害のある方の就労環境について

問 石巻市役所の障がい者の雇用人数と雇用率を伺う。

答 43・5人を雇用しており、雇用率は2・80%となっている。

問 石巻市全体の障害者雇用率を全国平均・宮城県平均と併せて伺う。

答 全国2・33%、宮城県2・29%、石巻管内は2・15%となっている。

問 管内の低い雇用率を見て、このまち最大の事業所であり、民間に障がい者雇用を指導、助言する立場である市役所は、障がい者とともに歩み、雇用者の立場で率先してノウハウを蓄積することが重要である。まずは今ある業務から、障害の特性に合わせた仕事の切り出しや洗い出しを全庁的に進めてはどうか。

答 仕事の洗い出しから始め、障害を持った方から働きたいと思ってもらえる環境づくりに取り組んでいく。

若者の居場所支援の拡充について

問 社会構造の変化により、子どもから大人への移行プロセスは複雑化しており、若者支援の重要性は高いと考える。本市はこどもまんなか宣言を行い、次期こども計画においても「若者」が明記され、支援の拡充が示されている。そこで、若者の居場所づくりとして、単に時間をつぶせる場所ではなく、気軽に訪れることができ、悩みも相談できる、そして主体的な活動によって自己実現できる「ユースセンター」のような居場所の拡充が必要ではないか。

答 ユースセンターのような居場所の必要性を強く認識した。こどもまんなかの視点でしっかりと対応していく。



後藤 兼位  
議員

はやて  
石巻颯の会



行政評価について

問 行財政改革における事務事業評価の導入は、財政効果をもたらす重要な手段だと考える。

答 事務事業本来の目的を再確認するとともに、その結果からどのような効果が得られるのかということにも意識を向けながら、業務内容の見直しだけではなく、事業の統廃合や廃止など、聖域を設けず取り組む。

指定管理者制度導入施設に係るモニタリングについて

問 本来の指定管理とはなんなのか、市民サービスに直結するものであり、競争性や透明性を高める改正が必要だ。

答 指定管理者制度の活用に当たっては、市民サービスの向上および経費の削減を進めるため、より効果的・効率的な管理・運営を実現するため、指定管理者制度の導入を積極的に進める。

行政組織改革について

問 本市は東日本大震災の最大の被災地であり、その経験を踏まえ、危機管理に関する組織体制の強化が必要だ。

答 近年の異常気象による災害、切迫性が高まっていると言われる日本海溝沿いの巨大地震等への備えや、子力災害等、各種災害への対応の強化が必要であり、防災・防犯・交通対策を一体的に取り組み、東日本大震災最大の被災地としての教訓を最大限生かした、市民が安全安心に暮らせるまちづくりを強く推進することが重要であると考えており、「危機管理」に対応する組織の見直しについては、積極的に検討する。



阿部 久一 議員

ニュー石巻



空き家と福祉のまちづくりについて

問 空き家等実態調査の現状について伺う。

答 令和5年度～6年度において実施している空き家の調査結果は今月下旬にまとまる予定であり、空き家の戸数は、令和元年度の調査と比較して市内全域で増加する見込みである。

問 福祉政策で石巻市地域支援事業として行っている総合事業について伺う。

答 地域の実情に応じて、住民や事業者等が参画し福祉サービスを充実することで地域の支え合い体制づくりと、要支援者の方に対する支援を行う。要支援に認定された方や生活機能の低下が見られる方が利用できる「介護予防・生活支援サービス事業」と65歳以上の全ての人が利用できる「一般介護予防事業」がある。

問 一般介護事業の内容について伺う。

答 住民主体の通いの場の創設を支援する「はつらつ元気教室」「いきいき百歳体操」の通所型介護予防事業等7の事業を行っている。

集落支援員制度の導入について

問 議員定数の削減を検討中であるが、人口減少とともに、支所の職員も減少し、市民への行政サービスの低下を招く。さらに、議員空白地区が発生すると地区からの議会参加議員がなく、議決権が削減することからせめて行政施策として職員の代行と市民への行政サービスを図るため、旧町へ集落支援員制度を導入してはどうか。

答 住民ニーズの手助けとなる体制づくりとして「ずっと住みたい地域づくり支援事業」を実施している。

議会の動き 令和6年

《10月》

- 1日 千葉県野田市議会行政視察来石  
長野県下諏訪町議会行政視察来石
- 2日 少子化対策特別委員会研修視察  
長野県諏訪市議会行政視察来石
- 3日 静岡県下田市議会行政視察来石
- 7日 宮城県大和町議会行政視察来石
- 8日 千葉県木更津市議会行政視察来石
- 9日 鹿児島県南さつま市議会行政視察来石  
埼玉県北本市議会行政視察来石
- 10日 北海道北見市議会行政視察来石  
議会運営委員会行政視察(～11日)
- 15日 環境教育委員会行政視察(～17日)
- 16日 総務企画委員会行政視察(～18日)  
保健福祉委員会行政視察(～18日)  
産業建設委員会行政視察(～18日)
- 21日 総合防災対策特別委員会  
青森県弘前市議会行政視察来石
- 22日 議会運営委員会  
第3回臨時会本会議(開会、議案審議、閉会)
- 24日 熊本県宇城市議会行政視察来石
- 28日 広報広聴委員会
- 29日 福島県西会津町議会行政視察来石  
愛知県岩倉市議会行政視察来石
- 30日 富山県富山市議会行政視察来石  
公明会行政視察(～11月1日)
- 31日 総合防災対策特別委員会第14回全国原子力発電所立地議会サミット(～11月1日)  
渡波小学校2年生議場見学

《11月》

- 6日 総合防災対策特別委員会行政視察(～8日)  
地域交通対策特別委員会行政視察(～8日)  
少子化対策特別委員会行政視察(～8日)

《11月》

- 12日 静岡県伊東市議会行政視察来石
- 13日 日高見会・無会派行政視察(～15日)  
石巻市民クラブ行政視察(～15日)
- 16日 第31回議場コンサート  
議会報告会
- 19日 石巻風の会行政視察(～22日)
- 20日 茨城県美浦村議会行政視察来石
- 22日 山梨県韮崎市議会行政視察来石
- 26日 茨城県ひたちなか市議会行政視察来石(～27日)
- 29日 議会運営委員会、広報広聴委員会  
総務企画委員会、環境教育委員会  
保健福祉委員会、産業建設委員会  
タブレット練習会

《12月》

- 3日 本会議(開会、提案理由説明)  
全員協議会
- 4日 本会議(条例案、予算案等審議)
- 6日 総務企画委員会、環境教育委員会
- 9日 保健福祉委員会、産業建設委員会
- 10日 議会運営委員会、環境教育委員会
- 12日 本会議(一般質問)
- 13日 本会議(一般質問)、環境教育委員会
- 16日 本会議(一般質問)  
総合防災対策特別委員会  
地域交通対策特別委員会  
少子化対策特別委員会
- 17日 議会運営委員会、本会議(一般質問)  
議員定数等調査検討特別委員会
- 18日 本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)、全員協議会

## 第4回定例会 起立採決のあった議案

- (1) 第125号議案指定管理者の指定について（石巻市複合文化施設）  
 第126号議案指定管理者の指定について（石巻市河北総合センター）  
 第127号議案指定管理者の指定について（石巻市多目的ふれあい交流施設遊楽館）  
 本3議案は起立採決の結果、全会一致で可決されました。

- (2) 第125号議案指定管理者の指定について（石巻市複合文化施設）、第126号議案指定管理者の指定について（石巻市河北総合センター）及び第127号議案指定管理者の指定について（石巻市多目的ふれあい交流施設遊楽館）に対する附帯決議

12月18日の本会議において、我妻久美子議員が反対の立場から討論を行いました。

討論の主な内容は、①労働契約法に包含されている環境配慮義務を法的効力を持たない附帯決議に盛り込むことに疑問を感じること、②雇用について附帯決議の中で示すことは団体への越権行為ともとられかねないことから反対したというものです。

本議案は起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

可決された附帯決議の内容は次のとおりです。

指定管理者の指定に当たり、3施設の今後の運営について、次の2点を申し添える。

- 1 石巻市は、今後滞りなく運營業務ができるよう、指定管理者との連携を密にし、職場環境の充実が図れるよう指導・助言を行うこと。
- 2 石巻市、指定管理者及び公益財団法人石巻市芸術文化振興財団は、財団職員の雇用について、可能な限り努力をすること。

以上、石巻市の文化振興と、施設利用者が安心して利用していただけるよう、附帯事項について決議する。

### 起立採決に対する各議員の賛否

議席 番号	氏名	賛否	
		(1)3議案	(2)附帯決議
1	原田 豊	○	○
2	勝又 和宣	○	○
3	木村 美輝	○	○
4	我妻 久美子	○	×
5	谷 祐輔	○	×
7	早川 俊弘	○	○
8	千葉 正幸	○	○
9	阿部 浩章	○	○
10	遠藤 宏昭	-	-
11	鈴木 良広	○	○
13	楯石 光弘	○	○
14	都甲 マリ子	○	○
15	宇都宮 弘和	○	×
16	山口 莊一郎	○	×
17	高橋 憲悦	○	×
18	齋藤 澄子	○	×
19	奥山 浩幸	○	○
20	安倍 太郎	○	○
21	丹野 清	○	○
22	阿部 久一	○	○
23	櫻田 誠子	○	○
24	渡辺 拓朗	○	○
25	星 雅俊	○	○
26	阿部 和芳	○	○
27	阿部 正敏	○	×
28	西條 正昭	○	×
29	後藤 兼位	○	×
30	大森 秀一	○	×
賛成		27	17
反対		0	10

※○：賛成 ×：反対  
 ※遠藤宏昭議長は採決に加わりません。

## 第4回定例会に提出された陳情

■臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情

(提出者) 一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章

■令和7年度税制改正に関する提言について

(提出者) 一般社団法人 宮城県法人会連合会 会長 菅原 裕典  
 公益社団法人 石巻法人会 会長 松本 賢

※これらの陳情は、全議員へ参考回付しました。

## 第3回臨時会で可決した議案と審議結果（令和6年10月22日開催）

### 条例（原案可決）

・市長及び副市長の給与の特例に関する条例  
 下水道工事にかかる官製談合事件について、仙台地方裁判所において、職員2名が有罪判決を言い渡されたことを受け、当該職員2名を免職処分とし、市政への信頼を大きく損ねる事態を招いた管理監督責任を明らかにするため、市長の給与を30%、副市長の給与を20%、各1カ月分減額するもの。

### その他（承認）

・専決処分の報告並びにその承認を求めることについて  
 (令和6年度石巻市一般会計補正予算（専決第1号）)  
 (訴えの提起について)



令和6年10月31日（木）、渡波小学校2年生41人の児童が、校外学習の一環として議場見学にいらっしゃいました。

議場見学では、議席に座り実際にマイクを使い、「議会の仕組み」や「議員の仕事」などいろいろな質問があり、議会運営委員長の阿部浩章議員が分かりやすい言葉で答えられました。質問をする際にモニターに自分の姿が映し出されると歓声をあげるなど、楽しみながら議会体験をすることができた様子でした。

## 議会報告会2024 行ってみっちゃ議会を開催しました

令和6年11月16日（土）、議会報告会2024「行ってみっちゃ議会」を市役所6階議事堂で開催し、議場コンサートも同日開催しました。

コンサートには約160人、報告会には40人の参加があり、委員会ごとに4つの会場に分かれ、それぞれの委員会が所管するテーマを基に、貴重なご意見やご要望を伺いました。

皆さまからのご意見などは、今後の議会活動に活用させていただきます。

### 【報告会で出された主な意見・要望】

- ・石巻市総合防災訓練について
- ・災害時の避難場所について
- ・ごみ置き場の管理について
- ・フリースクールの現状について
- ・子育て支援について
- ・健康診断について
- ・雨水排水の対応について
- ・陸上養殖について

議場コンサートでは、「石巻ジュニアジャズオーケストラ」により、バードランド、フライミートゥザムーン、シング・シング・シングなど4曲を演奏していただきました。



総務企画委員による議会報告



環境教育委員による議会報告



保健福祉委員による議会報告



産業建設委員による議会報告

# 常任委員会行政視察レポート

総務企画委員会 【実施日】令和6年10月16日～18日

## 【視察地および視察事項】

- 福岡県糸島市「ふるさと納税の取り組みについて」
- 福岡県北九州市「指定管理者制度の見直しについて」

糸島市は過去5年間でふるさと納税の寄付金額・件数ともに3倍以上に増加し、寄付金額の伸びは平成23年度から続いており、令和5年度寄付額は24億9453万円となっている。

返礼品の79%が食品であり、全国的に食品が占める割合が多いことから石巻市も食品の充実が必要かと思われる。品質を下げることなく事業者が継続可能な状況で、寄付者がお得感を持てる製品であることが大切となる。返礼品の数を増やすことは寄付者の選択肢が増え、選ぶ楽しみにつながるほか、人気返礼品ほど製造のキャパシティを超える危険性があり、危険回避にもつながる。

また、糸島市のように返礼品カタログは大変効果的で、石巻市の現状や魅力をダイレクトに伝えることができ、寄付金額に期待が持てるものと考えられる。担当職員には、苦労した点などを直接聞くことでいろいろな問題の解決策や新しい発想に向けてひとつも全国の自治体へ派遣すべきと考える。

北九州市では多様化する住民ニーズに行政が柔軟に対応するため、民間事業者のノウハウを活用することで予定者を含む参入事業者や施設利用者の意見を積極的に取り入れ、指



北九州市議会での視察風景

定管理者制度の見直しに取り組んでいる。見直しにあたっては、指定管理業務への参入を希望する事業者が応募しやすい環境を整備し、適切な競争性を確保することで、より効果的かつ効率的に施設の設置目的を達成できる事業者を選定している。

指定管理者制度が始まって20年が経過し、本市においても、運動施設、文化施設や子ども園などの指定管理を実施しているが、現在、十分な競争原理が機能しているか、また事業期間（指定期間）が適切かどうかといった課題に直面していると認識している。北九州市の「指定管理者制度の見直しについて」の進め方を参考に、「指定管理制度見直し委員会」を設立するなど検討を進めるべきと考えられる。

環境教育委員会 【実施日】令和6年10月15日～17日

## 【視察地および視察事項】

- 大阪府泉大津市「オーガニック給食の取り組みについて」
- 京都府南丹市（八木バイオエコロジーセンター）

泉大津市は、令和4年4月から毎月2回オーガニック食材を使用し、地産地消や季節などがテーマの献立を「ときめき給食」として提供している。農地が少なく、他自治体と農業連携協定を締結しており、農業連携先から米を購入し、給食で提供している。令和6年7月には旭川市と全国初となる生産地と消費地による共同の「オーガニックビレッジ宣言」を発出した。給食費については、市

が物価高騰分を補填し、米の費用を負担することにより、献立を充実させながらも給食費は据え置きのまま、保護者の負担は変わっていない。本市の子どもたちの「心豊かなたくましい子どもの育成」のためにも、より安心・安全でおいしい食材の提供は必至と考える。本市ではオーガニックビレッジ宣言に向けて、現在検討、協議中である。泉大津市の構想、中長期的には官民連携による食と健康を支える次世代循環型社会システムの構築まで考えている取り組みは、大いに参考に値すると思われる。

南丹市では、地域から排出される家畜の排泄物や食品廃棄物をバイオマス資源として利活用し、液肥、堆肥、発電等に転換し、地域での資源

## 【バイオマス資源の利活用について】

循環や環境保全に取り組んでいる。南丹市は乳牛の頭数が多く、乳牛の排泄物と食品廃棄物をメタン発酵させている。肉牛の排泄物はメタン発酵に適していないため、堆肥の製造に利活用している。

本市は、肉牛の飼育頭数が多く、南丹市のような手法によるバイオマス発電は不向きであるため、学校給食の残菜や食品加工事業者などからの食品廃棄物をバイオマス資源として、メタン発酵させることは物量的に実現可能性が高いと感じる。また、生ごみの水分はクリーンセンター焼却炉の温度低下の一因となっており、クリーンセンターの燃料投下量の削減にもつながることから、食品廃棄物をバイオマス資源として捉え、バイオ発電事業などにつなげる研究および検討を進めていただきたい。



泉大津市議会での視察風景

## 保健福祉委員会 【実施日】令和6年10月16日～18日

### 〔視察地および視察事項〕

●広島県呉市『データヘルスによる高齢者保健事業と介護予防の一体的実施について』

●兵庫県相生市『相生市子育て応援施策「11の鍵について」』

呉市では、1人当たりの医療費が全国の1.3倍高くなっていることから、医療費の負担軽減と国民健康保険財政の健全化を目的に、国民健康保険レセプト、健診のデータベースによって課題の把握や分析することで、効果的かつ効果的な施策を展開している。データベースから抽出した対象者へのジェネリック医薬品促進通知や医療費が高額な疾病への対策として、重複受診者等に訪問指導を行い、医療費の抑制に努めている。データ分析や施策の実施に当たっては、医師会や大学等との連携の強さも事業推進の特徴であった。

本市においても、ジェネリック医薬品促進通知は実施しているが、削減効果は把握していないとのこと。呉市とは自治体規模が違うが、本市においても削減効果が出ていないのであれば、医療費削減に資する大きな可能性が見取れるため、ジェネリック医薬品促進通知の効果把握を提言する。

相生市では、平成17年に国の三位一体の改革により財政状況が危機的になったことから、財政の健全化を図り、人口減少対策、教育・子育て・少子化対策、産業対策を集中的に実施している。11の鍵は、a i o i

に「i」が2つあることから、11をキーワードに給食費無償化事業を中心に子育て支援事業をパッケージ化したものである。各事業の担当部署は分かれているが、全庁一体的に事業に取り組んでいる。

本市においても、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援をパッケージ化しPRしているが、市民への認知が十分とは言えない状況である。小学校就学以降の施策は、教育委員会との協働が不可欠であり、本市でも市長部局と教育委員会との縦割りに横串を刺すようなパッケージの整備が必要である。また、市民にも分かりやすく、子育て応援のメッセージを伝えることができれば、子育てを理由とする社会減が抑えられ、人口減少を緩やかにしているのではないかと。



呉市議会での視察風景

## 産業建設委員会 【実施日】令和6年10月16日～18日

### 〔視察地および視察事項〕

●静岡県御前崎市『リターン就職応援プロジェクトについて』

●静岡県磐田市『おせっかい支援事業について』

御前崎市では、若者の働く場の確保と企業の雇用確保による安定経営の支援することで、人口流出を抑制し、持続可能な地域の創出を目的として、リターン就職応援プロジェクトを実施している。大学卒業後に御前崎市に戻り地域企業へ就職する意向があれば、就職前後の支援を行っている。インターシップ等の情報の提供や、リターン就職応援助成金制度により、金融機関と連携し、御前崎市や近隣市の企業に就職した場合に、借入利息相当額の助成を行っている。

御前崎市の取り組みは、単に助成金の制度ではなく、地元に戻ってくる学生や保護者、地元企業の意向を取り入れた制度であり、御前崎市を含めた近隣市との連携により、近隣地域で若者のリターンを応援している制度である。本市にとっても、近隣2市1町の広域の連携をより進め、情報交換や取り組みの共有を図り、圏域全体として若者が地元に戻り、生活ができる、仕事ができる環境整備を進めることを提言する。

磐田市では、おせっかい支援事業として、企業に市職員が積極的に訪問し、課題やニーズを伺い、支援機関の専門家と連携し、徹底的におせっかいすることで地域経済の活性化を図っている。リーマンショックなどによる影響を受け、磐田市を支援している企業が苦しんでいることから、がんばる企業応援団がスタートし、職員が年2回市内の登録企業を訪問し、市政情報の提供や現場の実態、課題等を伺い、静岡県よろず支援拠点と連携して課題解決に当たっている。

本市において、磐田市のように職員自らが企業訪問し、おせっかいをする取り組みは困難であると考え、足を引っ張る姿勢は、見習うべきと考える。本市として、宮城県よろず支援拠点とさらなる連携を図り、適切な手助けを提供することで、よりよい社会の実現に合った内容へ積極的に取り組み、地域経済活性化への結び付きを提案する。



磐田市議会での視察風景

# 議会運営委員会・特別委員会行政視察レポート

## 議会運営委員会

【実施日】令和6年10月10日～11日  
【視察地および視察事項】

- 宮城県大和町  
『これからの大和町議会のあり方プロジェクトについて』
- 宮城県栗原市  
『予算決算特別委員会、議会改革の取り組みについて』
- 岩手県北上市  
『オンライン会議の実施状況、議会改革の取り組みについて』

大和町議会では、議員のなり手不足の深刻化を受け、令和3年度にプロジェクトが始動。町民24名が参加し、セミナーとワークショップの構成で、情報収集と分析、意見集約と機運醸成、条例改正の3過程を踏まえて議論し、議員報酬6万円増、議員定数2人削減が実現された。

栗原市議会では、補正予算の審査は、本市と同様に常任委員会への分割付託を行っていたが、議案不可分の法則に従い、令和4年度から、補正予算も予算特別委員会に付託できるよう制度改正が行われた。

北上市議会では、コロナ禍を契機に、全国に先駆けてオンライン会議を導入し、3年間で126回開催された。また、通年議会を導入しているほか、2年に1度、議会から市に対して政策提言を行い、総合計画への政策反映を図るなど、議会活性化に向け活発に取り組まれている。

## 総合防災対策特別委員会

【実施日】令和6年11月6日～8日  
【視察地および視察事項】

- 石川県志賀町  
『北陸電力株式会社志賀原子力発電所現地視察』
- 石川県能登町  
『能登半島地震の被害状況と今後の対応について』

志賀原子力発電所は、令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、変圧器といった電気系統に被害を受けたが、原子力安全の確保に影響はなかった。

本市としても安全の確保のために受け身の姿勢ではなく、避難経路の情報共有を行うとともに、訓練の充実や積極的な意見交換や情報の開示を求めていくことが必要であると提言する。

能登町は能登半島地震で震度6強の揺れが観測された。避難所の段階ボールベッドはメーカーと協定を結んでいるため、1月16日の段階で必要数を確保した。情報共有では、スターリンクが活躍した。現在、9年間の復興計画を策定している。

本市において、スターリンクの契約を行った個人に通信契約料金を補助する仕組みの構築と、孤立しやすいう離島や半島部の避難所へのスターリンクの用意を提言する。

## 地域交通対策特別委員会

【実施日】令和6年11月6日～8日  
【視察地および視察事項】

- 岐阜県高山市  
『高山市地域公共交通計画における重点事業について』
- 岐阜県郡上市  
『郡上市地域交通網形成計画、地域公共交通計画について』

高山市では、交通不便者に対する移動手段の確保のため、高山地域では、幹線と中心市街地バスと接続、支所地域では地域バスとの接続により、市域を移動できる公共交通網整備に取り組んでいる。

本市においては高山市と地理的な相違があるため、同様の進め方は難しいが、公共交通を本当に必要とする方の意見を聞きながら事業を進める必要がある。まずは実態や課題、目指すべき姿等を共有した上で具体的な事業に取り組んでいくことを提言したい。

郡上市では、合併前の旧町村の路線を維持しつつ、可能な限り、中心部への直接乗り入れを行い、持続可能な地域交通に取り組んでいる。

郡上市の地域交通計画は重要計画の位置付けで、一般会計からの支出割合が大きい。今後、高齢社会の足の確保が重要であり、本市においても地域交通の取り組みは、他の予算を削ってでも取り組まなければならない事業である。

## 少子化対策特別委員会

【実施日】令和6年11月6日～8日  
【視察地および視察事項】

- 福岡県糸島市  
『結婚支援について』
- 山口県下関市  
『ふくふくこども館、こども家庭センターの取り組みについて』

糸島市では、少子化対策と定住を進めるため、出会いと結婚を支援する窓口を開設し、登録者と面談し、引き合わせから成婚までのサポートをしている。

本市において、サポートセンターは開設していないが、民間企業とも連携を図り、身近な相談窓口の構築や結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまちの実現に向け、切れ目のない支援継続を望む。

下関市では、こども家庭センターが、妊娠期から子育て期までの伴走型相談支援体制の強化を行っている。また、子どもたちを多世代で育むことを基本コンセプトとした屋内拠点施設のふくふくこども館を運営している。

本市において、こども家庭センターによる課をまたいだ課題解決のため、関係部署で一丸となって、足並みを揃えることのできる体制づくりを望む。また、屋内遊戯場として、社会教育施設等の活用を望む。

## 本会議・常任委員会を動画で配信しています

市議会ホームページから

『市議会YouTube配信(ライブ中継・録画映像)』  
をぜひご視聴ください



本紙面の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問や委員会審査の映像をご覧いただくことができます。

### 次回(令和7年2・3月)の議会定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/9	10	11	12	13	14	15
		建国記念の日	13:00 開会 施政方針演説			
16	17	18	19	20	21	22
				10:00 本会議 施政方針質疑	10:00 本会議 施政方針質疑	
23	24	25	26	27	28	3/1
天皇誕生日	振替休日	10:00 本会議 条例案等審議	10:00 本会議 当初予算案審議	10:00 本会議 追加議案審議		
3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8
	10:00 総務企画委員会	10:00 環境教育委員会	10:00 保健福祉委員会	10:00 産業建設委員会		
3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15
		みやぎ鎮魂の日	10:00 本会議 一般質問	10:00 本会議 一般質問	10:00 本会議 一般質問	
3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22
		10:00 本会議 一般質問	10:00 本会議 一般質問、閉会	春分の日		

※開会時間・日程は変更となる場合があります。

### 議会の内容を知る

本会議の様子はインターネット (YouTube) で生中継やこれまでの録画配信をご覧になれます。



YouTube 石巻市議会チャンネル

公式な記録である会議録は、市ホームページや図書館、議会図書室でご覧になれます。



会議録の検索・閲覧

■第4回定例会ライブ中継の視聴回数 2,289回 (令和6年12月3日~12月18日)  
■YouTube録画中継の視聴回数 6,681回 (令和6年10月~12月末)



### 編集後記

今回の議会だよりでは令和6年第4回定例会のほかに、各常任委員会の視察報告、議会報告会、議会コンサートの様子など、盛りだくさんの内容でお伝えいたしました。

石巻市議会では「総務企画」「環境教育」「保健福祉」「産業建設」4つの所管ごとに常任委員会が存在しており、他の自治体などの先進的な取り組みを、石巻市における課題解決や施策に反映させるため、毎年10月に行政視察を実施しています。

現地へ赴き、人と人との関わりの中で見えないものが見え、聞くことのできないお話を伺い、視察の重要性を感じたことも少なくありません。

視察等により議員としての見識を深め、石巻市のさまざまな取り組みに生かし、より良い地域づくりを目指すため、議員一同日々努力を重ねて、真摯に取り組んでまいります。

今後も議会だよりを通じ議会の活動をお伝えしていきますので、ご意見やご感想などがあればお待ちしております。

広報広聴委員会 委員 原田 豊

DATA 市総人口：132,447人【男：64,279人 / 女：68,168人 / 世帯数：62,480世帯(令和6年12月末日現在)】